

ドナルド・マクドナルド・ハウス NEWS LETTER

にいがた

新型コロナウイルスの影響は今も続き、病気の子どもたちも大きな影響を受け不安な日々を過ごしています。
1日も早く平穏な日常が戻ることを願っています。



Use Case 利用事例

付き添いを交代で

患児の弟が生まれたばかり…おばあちゃんと交代しながらハウスを利用

2歳の男児 本当はずっとそばにいたいけど、弟が2か月前に誕生したばかり。日中はお母さんが病院へ、夜間はおばあちゃんが病院へ 毎日交代しながらハウスを利用していました。お母さんが搾乳し、夜はおばあちゃんがミルクをあげている姿が印象的でした。病院まで歩いて5分かつからず、交代がスムーズにできました！とお言葉をいただきました。実はこの家族が、にいがたハウスご利用の1組目です。

外来の前泊で

長岡からの外来受診時の前泊でハウスを利用

1歳の男児 外来受診が朝9時の予約。間に合うようにすると出発時間がかなり早くなってしまいます。前泊することで、1歳の患児もお子さんのペースで準備ができ、生活リズムを崩さず過ごすことができました！とお言葉をいただきました。実はあの大雪の日も受診予約があり前泊されていました。無事に受診でき、ホッとしています。

日中の利用で

退院手続き後のお迎え到着までの時間にハウスを利用

13歳の女児 無事退院することに。退院手続きは10:30に終了。でも、お父さんのお迎えの到着予定が17:00。病院周辺は土地勘がなく、お父さんが来るまでハウスでゆっくり過ごされました。ゆっくりお風呂にも入れました！と喜んでいただきました。ダイニングでゆっくりお茶をされている姿が忘れられません。



Family Story ある家族のお話

きょうだいへのサポート

急にお姉ちゃんが入院

お姉ちゃんが急に新潟大学医歯学総合病院に入院することに。妹さんは学校もあり、自宅でおばあちゃんと過ごすことになりました。突然、お父さんとお母さんと離れ離れになり、精神的に不安定になってしまったそうです。そこで、ハウスを利用することになりました。久しぶりに会うお父さんとお母さんに抱きつき、とても嬉しそうでした。慣れない場所で最初は緊張しているかなと感じましたが、徐々に笑顔になっていき、リビングでテレビを見ながらご飯ができるのを待っている姿は自宅でもこんな感じかな…と感じました。



ボランティアミール

子どもたちとご家族の応援団・・・
ハウスの仲間 ボランティアさんの活躍を紹介します

にいがたハウスでは不定期ですが、ボランティアさんに作っていた料理を利用ご家族に振る舞っています。

これは料理の美味しさや手作りの温かみがあるのはもちろんですが、ハウスの近隣にスーパーがないことや、買い出しに行く車や時間のない方のサポートになり、喜んでいただいています。

【豚汁】

記念すべき1回目のミールプログラム（利用者さんへの食事提供）。初めてということもあり、賑やかなキッチンが思い出されます。

「野菜たくさんで美味しかったです！」（利用者さん）

【おでん】

12月の寒い日に実施しました。「家庭の味」「子どももパクパク食べました」「心までポカポカ」（利用者さん）嬉しいお言葉をたくさんいただきました。

【クリスマス】

ボランティアさんからの募金でクリスマスケーキを利用者さんに準備しました。クリスマスを少しでも感じて欲しいと、夕食には「チキンのトマト煮」も作りました。「おかわりしました（笑）」（利用者さん）



Users VOICE

(1) よかった点
スタッフみなさんの声かけのあつた感じが良かったです。癒され
ました。
食材がたくさんあり、買い物が必要最低限で済みました！
入院中は付き添いの食費がとても大変なので助かりました。
家族みんなで忙しい期間を一糸にすごせて良かったです。
大変感謝しております。

(1) よかった点
・ 1人になりたい時のプライベートが守られていながらも、共有スペースでは
コミュニケーションをとることが出来る点。
・ 食料や身のまわり品に困らない点。(入院病院から直行で来たので非常に有難かったです。)
・ 清掃用具を好きなタイミングで使える点。

食事、洗濯、お風呂等、自分が好きな時間に自由に使えて、
本当に良かったです。部屋も静かでバが良かったです。
ありがとうございました。



ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた

〒951-8122 新潟県新潟市中央区旭町通一番町756-9
TEL: 025-210-0577 MAIL: niigata.house@mail.dmhcj.or.jp



日々の出来事をツイートしています。
フォローをお願いします。

